



謹賀新年

12月定例会

令和元年度補正予算	2
一般質問	4
広域組合議会	16
常任委員会(行政調査)	18
私のおとこと	20

挑戦

私のおとこと

おた しまご
太田 渉子さんに



インタビュー

①なぜテコンドーを選んだのですか？
友人から教えてもらい合宿を見学したら、女子高生の蹴りが、まるでバレリーナのように美しいフォームなので魅せられて始めました。



最高の試合を披露したい!!

②スキーとの違いは？

パラテコンドーは相手を倒すのではなく、2分間3ラウンドで蹴りでポイントをとり、瞬発力が求められるスポーツです。クロスカントリースキーは長い距離を走破する持久力が必要とするスポーツです。パラテコンドーは日本では2015年に韓国から普及されたなじみの少ないスポーツですが、私は技術の向上を目指し一心不乱に頑張っています。



③仕事しながらですが、会社のサポートはありますか？
現在はソフトバンクの社会貢献事業部で働きの

から練習しています。栄養学を学び社員食堂で食事ができます。いろいろなサポートがあり感謝しています。

④いよいよパラリンピック。今どんな気持ちですか？
まずは、代表出場するのが最低ライン。さらに高いパフォーマンス最高の試合を披露したい。そして自国開催でたくさんの方にパラスポーツを観に来ていただきたいです。

編集委員より

太田渉子さんのパラリンピックへの挑戦は、06トリノ・10バンクーバー・14ソチの各大会に続き4回目になります。現在パラテコンドーでは、女子で唯一の強化指定選手に選ばれており、19世界選手権で3位に入賞しました。今月の大会結果で正式に出場が決定されます。市民の皆さん声の限り応援しましょう！

あしがき

雪の無いお正月を迎えた今年はおリンピックイヤー。令和新时代にふさわしく「挑戦」を表紙にしました。編集委員総力戦で次号が待ち遠しくなる議会だよりを目指し頑張っています。ご意見・感想などお寄せください。よろしくお願いたします。
(塩原未知子)

発行責任者

- 議長 大類 好彦
- 市議会だより編集委員
- 委員長 鈴木 清
- 副委員長 和田 哲
- 委員 塩原未知子
- 委員 伊藤 浩
- 委員 菅野 喜昭
- 委員 安井 一義
- 委員 鈴木由美子

発行／山形県尾花沢市議会 編集／市議会だより編集委員会

ぼうちょう 議会を傍聴しませんか？

◇3月の定例会は
3月3日~19日
の予定です。



12月の定例会本会議傍聴者数は56人でした。

5億1,543万円を可決

総額 124億9,428万円

(株)尾花沢市ふるさと振興公社に 指定管理者決定!!

令和2年4月1日～令和5年3月31日まで3年間

花笠高原施設等の指定管理業務 **8,514万円**

徳良湖周辺施設等の指定管理業務 **1億0,368万円**

徳良湖温泉「花笠の湯」の指定管理業務 **1,171万円**

もう1基追加 すべり台設置工事請負など 1,500万円



※写真はイメージです

補正予算の内容

一般会計補正予算	3億7,306万円
国民健康保険特別会計補正予算	2,917万円
介護保険特別会計補正予算	1億0,030万円
後期高齢者特別会計補正予算	1,290万円

主なもの

災害復旧



5,460万円

子育て支援



5,201万円

認定こども園



1億2,000万円

イメージ図

定例会のあらまし
令和元年12月定例会が12月5日から13日まで9日間の会期で開催されました。一般会計補正予算や条例の一部の改正など10件、人事案件1件を慎重に審議し、結果いずれも原案通り可決しました。
また、議案案として次期食料・農業・農村基本計画に関する意見書を提出する事を議決しました。

採択された請願

請願者

みちのく村山農業協同組合
代表理事組合長 折原敬一

令和元年請願第3号
次期食料・農業・農村基本
計画に関する請願

意見書提出

徳良湖築堤100周年(2021年)まであと1年。



しおばら みちこ 議員
塩原未知子

堆積場の減免制度で 除排雪経費削減を!!

市長…区長や関係者と相談し
新たな制度を導入する

問 東北各地で「堆雪場の確保を目的とする固定資産税の一部減免制度」が実施されている。間口除雪で堆雪場が不足している中、地区ごとに複雑な除雪経費と区長の仕事軽減のため、排雪渋滞を緩和し除排雪経費の削減にもつながるため早急に事業化すべきではないか。

答 現在県内では1自治体が実施している。区長が調整し地区の会計で雪捨て場に支払う経費については、市で助成することや、委託業者から雪押場の提供者に支払うような制度

空き地の堆雪場税免除

の提案もあり、効果的な減免手法など検討していく。

地域の歴史文化保存と避難所の維持

問 地域の拠点である学校が閉校となった場合、指定避難所の校舎の老朽化も進行する。校舎内の美術品や地域の文化も合わせ避難所整備を今後どうしていくのか。また、美術品などは庁舎内に展示はできないのか。

答 現在、指定避難所は39施設あり、そのうち小・中学校は9施設が指定されている。鶴子小と玉野中は、今年度をもって閉校となるが、耐震化されているので、当面は指定避難所として維持する。空き校舎の美術品などの保管や地域活動の継承は、メモリアルコーナーを設置して展示保管したい。庁舎内も検討する。

介護予防と健康に 温泉・運動・食育の推進を

問 医療や福祉に頼るだけでなく「花笠の湯」や「御所の湯」で、生涯元気づくりポイント事業の対象となる介護予防・健康講座、唄や踊りのステージなど健康増進事業を積極的に行ってはどうか。

答 地域と連携してスクールバスを活用した健康増進事業、敬老会や老人クラブのレクリエーション大会などの福祉事業、広くボランティア活動など、様々な事業に生涯元気づくりポイント事業も合わせ積極的に取り組んでいく。

バス路線の抜本的改善

問 こども議会でも高校生に通学に朝晩の増便を望んでいた。免許の無い働く方や、冬期間銀山温泉に来る観光客の乗車があふれている路線も含め、市民の足の確保を抜本的に見直してはどうか。

答 路線バス・スクールバス・福祉バスなどを総体的に捉えた公共交通の在り方について協議を進めていく。より利用しやすい運行時間なども含め、さらなる利便性の向上に向けて検討を進めていく。

「尾花沢地方の行事 食」を伝える

問 「尾花沢地方の行事食」を伝える時代にあった食材や道具でもリニューアルを図り市民の食育と食生活改善に役立てたらどうか。

こども議会から出た願いは必ず叶えてあげたい!!



つばやき...

どうする! どうなる? 尾花沢

11人の議員は 質 だけ こだわった

12月定例会 一般質問

○囲み数字が掲載

塩原未知子	<ul style="list-style-type: none"> ① 空き地の堆雪場税免除事業 ② 学校統廃合が加速する中、地域の歴史文化保存と避難所の維持 ③ 介護予防と健康寿命延伸に温泉と運動、食育の推進 ④ 免許返納者タクシー券事業とバス路線の改善 	青野隆一	<ul style="list-style-type: none"> ① 2019保存版尾花沢市防災情報ガイド ② 鳥獣被害対策 ③ 子どものインフルエンザ予防接種 ④ 県立北村山高校に対する支援策 ⑤ こども議会 ⑥ 放課後児童クラブの拡充
和田哲	<ul style="list-style-type: none"> ① 尾花沢市のスポーツの現状と課題 ② グローバルな地域産業の振興 	安井一義	<ul style="list-style-type: none"> ① 除雪計画及び対応 ② 消防用ポンプ更新計画及び実施状況 ③ 徳良湖周辺整備状況 ④ 農畜産物の産地化 ⑤ 図書館利用サービス向上
鈴木由美子	<ul style="list-style-type: none"> ① 徳良湖マイクロ水力発電 ② 変わりゆく学校教材と、市内小中学生の学力向上 ③ 市役所内の事務の連携と情報の共有化 	菅野修一	<ul style="list-style-type: none"> ① 耕畜連携の一層の推進を ② 空き校舎の利活用 ③ 本市の国土強靱化地域計画策定
小関英子	<ul style="list-style-type: none"> ① ケアラー(介護する人)支援の推進 ② 不妊治療・不育治療に助成の拡充 ③ 多言語対応の充実 ④ 図書館を活用したまちづくり ⑤ 放課後児童クラブ支援事業 	鈴木清	<ul style="list-style-type: none"> ① 教員への変形労働時間制導入 ② より活発に利用される図書館 ③ 介護保険・ケアプランの有料化
伊藤浩	<ul style="list-style-type: none"> ① 学校統合計画と保育園の在り方 ② 鳥獣被害対策 ③ 災害対策 ④ こども議会の意見を実現化へ 	菅野喜昭	<ul style="list-style-type: none"> ① 台風19号における市民の避難行動等 ② 要介護者の入所施設
星川薫	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域おこし協力隊の活用 ② 国の派遣制度の活用 ③ 尾花沢市運動公園へのアクセス 		

尾花沢市議会
インターネット中継
録画も
市のホームページからアクセスできます
www.city.obanazawa.yamagata.jp



鈴木由美子 議員

学力向上を目指した「尾花沢の教育環境」の充実を！

教育指導室長…サポート体制を整え子ども達と向き合う時間確保に努める

小中学生の学力向上

問 更なる学力向上のため市の考えや施策はどのようなか。

答 学力向上は喫緊の課題である。可能な範囲で学習支援員を配置し、よりきめ細やかな学習指導ができるようにしたいと考える。

学習教材の変化

問 近年、子ども達の通学バンの大変重くなっている。成長段階であり健康面への影響も心配である。効率良い時間割など解決策はないか。



和田哲 議員

尾花沢らしい「スポーツ振興計画」の策定を！！

市長…市民の意見を聴取しながら策定していく

本市スポーツの現状と課題

問 第6次尾花沢市総合振興計画におけるスポーツの主要施策の成果と課題を、どのように分析しているか。

答 本市ではスポーツの主要施策を4つ掲げている。一つ目は既存スポーツ施設の整備・充実で、市体育館の耐震補強工事に併せ、アリーナのLED化と外壁塗装工事を行い施設の長寿命化を図った。二つ目はスポーツ団体の育成で、市内のスポーツ少年団への入団率は県内でも高い割合となっているが、少子化や

スポーツに対する二極化が進み団員の確保に苦慮している状況と捉えている。三つ目の指導者の確保・育成については、多様化する活動内容やクラブの広域化などの環境の変化により、さらに力を入れていく必要があると考えている。四つ目の多様なスポーツ活動の推進については、スポーツ推進員をはじめ各競技団体と連携し活性化に取り組んでいるが、多種多様なスポーツにふれることができる環境づくりも喫緊の課題であると考えている。

問 平成23年に文部科学省は「スポーツ基本法」を改めて制定し、そのもとで「スポーツ基本計画」を策定した。本市においても、尾花沢らしい独自の計画を策定すべきではないか。

答 現在県内12市町が独自の計画を策定している。国のスポーツ振興計画をふまえた上で策定に着手していく。

問 幼児から高齢者、健常者・障がい者の垣

答 根を越えた策定への取り組みを望むがいかがか。そのような方向で検討していく。

グローバルな産業振興

問 本市全体の経済成長のため、観光を軸にあらゆる産業分野と連携できる仕組みが必要ではないか。

答 银山温泉に立ち寄る外国人からの観光消費がほとんどないため、外国人の視点も交えた受け皿づくりが必要と考える。

問 総務省が推奨している「地域の国際化を目指すCIR」を活用し、本市の魅力の世界にむけて発信してはどうか。

答 外国人のアドバイザーが活躍できる取り組みは重要と考える。例えば、旅行者などから職員を派遣していただく「地域おこし企業人」などの活用を含め検討していく。



徳良湖マイクロ水力発電

徳良湖マイクロ水力発電

問 小水力発電があることを認識している市民は少ない。完成し5年が経過しているが、現在は故障のため使用できていないが、今後どのように活用するのかが。

答 今後の保守点検や修繕の見込みについて検証の上、専門家の意見も聞きながら、続けるのか止めるのか検討していく。現在は、「大正ロマン再生可能エネルギーパーク」の構成施設となっており、ホームページにも掲載している。修繕稼働後、看板設置などしながら再生可能エネルギー利活用の啓発を図る。

市役所内の業務の連携と情報の共有化

問 各課が市民にお知らせした情報を他の課の職員が知らずにいることがある。またそれぞれの課の企画が重複しないように情報の共有を徹底すべきと考えるがいかがか。

答 職員には市報も公報紙にも良く目を通すよう指導する。事業やイベ

街の中で外国人と交流できる仕組みが必要だ!! 目指すは相乗効果



つぶやき…

*** CIR 国際交流員(総務省)**
 (Coordinator for International Relations)
 ~地方公共団体に配属され国際交流に従事する外国人~

- ・インバウンド(訪日外国人の誘客)対策や姉妹都市などの国際交流、輸出振興などで期待されます。
- ・オリパラ等のホストタウン事業などに期待されます。
- ・日本語が堪能です。

問 組織の縦・横・全体の連携を密にし、効率の良い働き方について、どのような考えか。

答 類似した業務、事業イベントなどについては、出来る限り一本化していく。これまで慣例として必要とされてきた事務や事業について、もう一度見直せる部分はないか点検しながら、効率の良い働き方を進める。

縦の糸はあなた~
横の糸はわたし~♪
織りなす布を丈夫に
お願いしたい!!



つぶやき…



伊藤 浩 議員

保育所新築は将来像に沿った計画を!!

市長…急激に変化する環境に対応していく

学校統合計画と 保育園の在り方

問 学校教育検討委員会の中で、今後の在り方ほどのような方向で検討されているのか。また、日程的にはいつごろまでの期間となるのか。

答 「学校の在りかた全体構想」「喫緊の課題に対する対応」「関連する諸課題」の3項目について、過去6回開催してきたが、今月の会議では意見や要望を集約したものを協議し、尾花沢市総合教育会議への提言書としてまとめる予定である。議会にも、その後説明する予定である。

問 子どもたちの、地域に対する愛着心を養うためにも、学校統合後も、地域と子どもたちが触れ合える。廃校となった地域でも継続した教育活動を進めようか。

答 地域全体で子ども達の学習や成長を支えていく事や、地域づくりの

問 市内の公立・私立保育園の入所率は、全体で65%となっている。今後の出生予想数も踏まえて、民間で可能な事業は民間に委ねる事が重要と考える。公立保育園の新築計画も見直しを検討すべきと考えるがどうか。

答 近年の急激な少子化の進行や、民間事業者による認定子ども園の新設など、保育環境は大きく変化している。これまで進めてきた「子ども・子育て会議」の中に「保育所在りかた検討部会」を立ち上げ、公立・私立保育園の役割の明確化などについて協議している。

問 不育治療に、支援対策は行われていないが今後の取り組みはどうか。

答 治療法についてガイドラインなどが示されておらず、今後情報を収集し研究していく。

多言語対応

問 観光面で、多言語対応策はどのように行われているか。

答 銀山温泉エリアは5カ国語、徳良湖や花笠高原エリアなどが載っている市内周遊用の多言語パンフレットは更新時に合わせて制作を考えている。

問 救急車での多言語対応の現状と課題はどうか。

答 今年7月から「救急ボイストラ」をすべての救急車に配備し、31言語に対応できる音声翻訳機と文字表記があり、聴覚障がい者への対応も可能である。

放課後児童クラブ事業

問 放課後児童クラブの待機児童数は何人いるのか。

答 利用可能人数は8クラブ合計で180名。11月末で利用希望人数は26名で、市内全域で48名の待機児童がいる。

問 待機児童解消のためどのような対応を行っているか。

答 各地区において申し込みの説明会を行った。解消には実地場所の確保を図り、支援員の確保は運営先と協議し準備を進めている。



つぶやき…

問 尾花沢市の将来を担う子ども達に、夢と希望を与えるためにも提案事項を具体的に実現してはどうか。

答 室内受信機は、災害時要支援者などへの情報提供に有効と考えるので、段階的に整備を進めていきたい。

子ども議会

問 来年度の予算編成方針の中で、「政策展開特別枠」を設ける。この中で子ども議会が出された提案を具現化していく予定である。

答 針の中で、「政策展開特別枠」を設ける。この中で子ども議会が出された提案を具現化していく予定である。

防災対策

問 年々複雑化する自然災害への対応として、

答 先進地の事例を参考にしながら、猟友会の負担軽減のためにも、地域と一体となった被害防止活動に取り組んでいく。



つぶやき…



小関 英子 議員

ケアラー(介護する人)支援条例の制定を

市長…国や他の自治体の動向を注視し研究する

不妊治療・不育治療

問 在宅で介護を必要とする世帯と人数の現状はどうか。

答 要介護・要支援認定者は1千225人で、サービス受給者数87人のうち、居宅介護サービス受給者は54人で世帯数は520世帯。また、障がい者は5人5世帯で4人は単身世帯になる。

問 ケアラー(支援する人)への支援は何を行っているか。

答 認知症の方や家族同士が交流できる場所として「オレンジカフェ」を設置し同じ悩みを話し合える機会を作っている。また、認知症にやさしい地域づくり認知症サポーター養

成講座を行っている。在宅での介護を担う家族に対し、介護者相互の交流会を年2回開催し心身のリフレッシュを図っている。家族介護者の生活・人生の質の向上に支援できるように取り組んでいく。

問 市特定不妊治療費助成事業で不妊治療を行った方は、何人になるか。

答 助成件数は延96件、実人数は30人で、そのうち、妊娠出産に至った方は15人になる。

問 不妊治療は、1回で済むことはなく数回の治療が必要となり、自由診療で医療機関で大きな差がある。更なる助成の拡充が必要でないか。

答 治療費は平均で約34万円となり、県と市の助成を受けても自己負担額が平均10万円弱となるので、軽減の対策を行っている。

多言語対応

問 観光面で、多言語対応策はどのように行われているか。

答 銀山温泉エリアは5カ国語、徳良湖や花笠高原エリアなどが載っている市内周遊用の多言語パンフレットは更新時に合わせて制作を考えている。

問 救急車での多言語対応の現状と課題はどうか。

答 今年7月から「救急ボイストラ」をすべての救急車に配備し、31言語に対応できる音声翻訳機と文字表記があり、聴覚障がい者への対応も可能である。

放課後児童クラブ事業

問 放課後児童クラブの待機児童数は何人いるのか。

答 利用可能人数は8クラブ合計で180名。11月末で利用希望人数は26名で、市内全域で48名の待機児童がいる。

問 待機児童解消のためどのような対応を行っているか。

答 各地区において申し込みの説明会を行った。解消には実地場所の確保を図り、支援員の確保は運営先と協議し準備を進めている。



つぶやき…

問 尾花沢市の将来を担う子ども達に、夢と希望を与えるためにも提案事項を具体的に実現してはどうか。

答 室内受信機は、災害時要支援者などへの情報提供に有効と考えるので、段階的に整備を進めていきたい。

子ども議会

問 来年度の予算編成方針の中で、「政策展開特別枠」を設ける。この中で子ども議会が出された提案を具現化していく予定である。

答 針の中で、「政策展開特別枠」を設ける。この中で子ども議会が出された提案を具現化していく予定である。



つぶやき…



あおのりゅういち 青野隆一 議員

全ての避難所で設置訓練の実施を！

市長…問題点の把握も含めて実施したい

問 台風19号の際の避難勧告は、どのように周知されたのか。

答 土砂災害警戒区域や浸水洪水想定区域に対し、区長への電話連絡や防災行政無線などで情報伝達を行った。

問 避難対象世帯については、本人や区長、民生委員などに対して伝えられているのか。

答 防災という観点で個別の通知はしていないが、今後は自主防災会と話し合っただけではない。

問 今回開設した避難所で本当にいいのかなど、問題点も出されている。全戸配布された『防災情報』



当日の寺内避難所

ガイド』の精査とともに、全避難所での設置訓練を実施すべきではないか。

答 自主防災会など地域の意見を聴取しながら、見直しや設置訓練について実施していきたい。

問 募集定員120人に対して入学者は79人、その市内の生徒数は43人となっている。地元自治体としてどのような支援策を考えているのか。

北村山高校への支援を

問 さらに接種率を上げるためどう取り組んでいくのか。

答 助成の実施期間を12月末日から1月末日までの延長について検討していきたい。

問 昨年の接種率はどうか。

答 1歳から中学3年生までを対象に、1回につき1900円を助成している。1回目の接種率は45・1%、2回目は36・5%となっている。

子どものインフルエンザ予防接種率の向上を

問 昨年の接種率はどうか。

答 手つかずの状態になっていることは認識しており、安全性の面からも、側溝の蓋掛けや道路拡幅などやれるところは行っていく。

放課後児童クラブの拡充

問 子育て支援は、経済的支援以上に環境整備が重要になっている。来年度の利用希望者全員を受け入れられるよう、どう取り組むのか。

答 本町地区では民間施設での活用を、玉野地区では中学校の活用を、福原地区では新たなスペースの確保を行って、希望者全員を受け入れられるよう進めている。

想定外の大災害が多い。もっと地域との連携を



つぶやき…

国の施策を有効に活用してはどうか

市長…制度の活用を是非考えていく



ほしかわかおる 星川薫 議員

問 行政視察した北海道東川町では、41名の隊員が地域おこしのために活躍している。本市においても、観光分野、鳥獣被害対策分野、教育分野、文化・スポーツ分野などの人員不足などの様々な課題が深刻化している状況にある。このような課題を抱える分野で活動していただける隊員を募集してはどうか。

答 各分野における専門的知識や、これまで培ったスキル、さらには私たちでは気づかない新たな発見などをまわすに活かしていくことは有効な手段の一つと考える。必要な分野を明確にして募集することで応募される方の力を十分に発揮していただくことが可能になると考える。必要とする分野を精査し、地域おこし協力隊の募集を図りたい。

地域おこし協力隊の活用

国の派遣制度の活用

問 国の施策として専門派遣事業がある。観光庁では、広域周遊観光促進のための専門家派遣事業、総務省は、地域情報化アドバイザー派遣制度、外部専門家（地域力創造アドバイザー）制度などがある。地域おこし協力隊の他にも、地域おこし企業人による観光の確立、特産品の開発など活用されている事例がある。本市でも、このような制度を活用し、銀山温泉のお客様が市内各地に訪れることができるような観光ルートの設定やPR方法を構築しながら、観光地の誘客を図ってはどうか。

答 銀山温泉から花笠高原や徳良湖エリアへの誘導が図られれば、資料館や商店街へのシャワー効果も期待されることから、地域おこし企業人などの制度の活用を是非考えたい。

運動公園へのアクセス

問 尾花沢市運動公園へのアクセスは市道119号線のみで、公園施設利用者だけでなく、地域住民は勿論のこと通学路、中央診療所、農業者など多種多様であるが、道幅が狭く対面通行が困難な箇所もあり、安全性も確保できていない。側溝の蓋もなされずに張り出す支障木もあり、道路の管理面にも問題がある。また、県道鶴子・尾花沢線とのT字路は、東光館への入り口と重なっており大変危険であり、道路改良が必要と考えるがどうか。

答 バックネット裏まで一大会時のテント運びなど、大変なことは認識している。がけ地や崩れた経緯もあることから、ボーリングなどの調査を行った上で検討する。

尾花沢市運動公園の

問 平成30年度の利用者は約6万9千人で、その中でも体育館利用者は4万7千人強、総合球場・スポーツロードの利用者は1万6千5百人強となっており、利用率が高いことと大型バスの乗り入れや荷物の運搬などを考慮すれば市道長根山線からのアクセスは不可欠と考える。市道長根山線からの新たな道路や駐車場を設けてはどうか。

前向きな答弁 ぱっかりだったなあ



つぶやき…



やすい かずよし 議員 安井 一義

農畜産物の産地化の為の施策を図れ

市長…戦略作物助成と産地交付金を活用する

除雪計画と対応

問 除雪と排雪が一緒の発注となったが、事前打ち合わせの雪押場の確保はなされているのか。危険箇所はどの様に対策されているのか。今後の雪押場の確保として固定資産税の減免などあったが雪対策だけを考えると定額の借上げを検討してはどうか。

答 市所有の雪が押せる場所についてはすべて活用されており、それ以外市内全域で千百ヶ所を区長や除雪担当業者を通じて市民の協力を得て確保している。今後は新たな制度の導入を検討し、道路幅員の

消防ポンプ更新計画と実施状況

確保と現場打ち水路側溝など老朽化設備の順次更新を進めて行く。



問

消防用ポンプ設備の更新について計画通りの実施状況となっているのか、保管場所の更新時の設備の規模など、また消火栓の保管場所の基準はあるのか。

答 毎年2台ずつの計画通りの更新状況となっている。警鐘台は地区から要望などにより順次撤去

農畜産物の産地化

問 米と夏すいか、雪降りと牛、そばなどの特産物の交付金の金額に差があるのは産地化に向けた優先度の順になっているのか。

答 一つは戦略作物助成で国が単価を設定するもの、もう一つは産地交付金で地域の裁量により活用可能な交付金となっている。今年度は産地地消となる契約栽培品目を追加している。また市農業再生協議会で支援内容の見直しをしている。

図書館利用 サービス向上

問 鞆持ち込みを可能にできないか、併設されるえほんの杜を年間憩い

本市の 国土強靭化計画

問 国土強靭化地域計画の策定を急がれていると思うが、「見える化」要件化「重点化」を明記された事業に対し、「優先採択」と「予算の重点配分」となるようである。流雪溝、防雪柵、橋梁の架替え、河川の改良など、もれなく計画の中に列記すべきと思うがどうか。

答 事業進捗に影響が出ないよう早急に計画策定に取り組んでいく。

牛に与う稲わらの更なる地産地消を！

市長…自給率は15%、課題多く、研究必要

耕畜連携の 一層の推進を

問 ブランド化高まる尾花沢牛だが、飼料として重要な稲わらの確保が難しく、8割以上の四千五百トを市外に依存している。市内に稲わら資源が豊富にあるにもかかわらず、地産地消が進まない。稲わら確保の課題解決に努めるのも市農政である。英知を結集すれば、地元産稲わらの収集供給システムができると思うがどうか。

答 市内産稲わらの地産地消を進める方法として、収集業務を請負う事業者を立ち上げることが考

空き校舎の活用

問 地区民は「空き校舎は寂しい限り」と語る。賑わいを取り戻せるような利活用として、四季が美しく自然豊かな場所に建つ空き校舎を集合住宅として改築し、第二の人生を求める元気な高齢者世帯から

火の用心
地震・崩落(雷)
火事・豪雨・豪雪(親父)



つぶやき…

市内の稲わら確保が尾花沢牛の更なる発展に…
為せば成る!!



つぶやき…



鈴木 清 議員

教員が倒れたら、一番の被害者は誰か

教育長…それは子ども達だ

教員変形労働制

問 教員の長時間労働が社会的な問題となっているが、小中学校教員の労働実態を把握しているか。

答 本市小中学校職員の10月分の超過勤務の集計は、月45時間以内の上限ガイドライン以下は60%達成。80時間超の過労死ラインは残念ながら3%となっている。

問 公立学校の教員に1年単位の変形労働時間制(注)を導入するため、公立教員給与特別措置法(給特法)改正案が国会へ提出され、可決された。教員は時間外労働が恒常化して

おり、この法案は「過労死促進法案」ではないかと言われているが、本市は条例により導入したいと考えているか。教員が倒れたら一番の被害者は誰か。

答 それは子ども達だ。県は導入の手續きなど検討段階とし、業務量を減らさない限り、忙しさの偏りが増加するため慎重に検討するとしている。市としても国・県の動向を注視したい。(注)

年単位の変形労働時間制とは、1年間を「繁忙期」と「閑散期」の勤務時間を延長し、「閑散期」の勤務時間を短縮し、夏休みの休日のまとめ取りを可能とするもの。文科省は、「月45時間、年間360時間以内」の時間外労働を可能とする「上限ガイドライン(指針)」の順守を導入の前提としている。

読書活動を応援し利用される図書館に

問 尾花沢市民図書館は、今年40周年を迎え、来年は「図書館法」制定70年目となるが、年々利用冊数が減少している。尾花沢市民図書館協議会では、どのような分析をし、対策を話し合っているか。

答 残念ながら、協議員のなり手不足のため、平成28年より休止している現状だ。

問 小中学校に読書力向上推進員を配置しているが、どのような効果かできているか。

答 図書を紹介や読み聞かせを通し、子ども達と読書をつなぎ、貸し出し・図書整理・新書の計画的な購入をしている。一人当たりの貸し出し冊数は、小学校15冊、中学校30冊となっている。

問 より活発に利用される図書館にするために、司書資格者を増やし、図書館法により、読書活動

定額働かせ放題は反対です!!



つぶやき...

を応援する図書館にと願っているがどうか。

答 図書館業務は、尾花沢市ふるさと振興公社に業務委託し、2名の司書資格者を配置している。蔵書数は北村山管内で最も多いが、さらに魅力ある図書館にしていきたい。

台風19号、市民の避難行動は

市長…避難率は約8%で、今後の大きな課題



菅野 喜昭 議員

問 台風19号における市民の避難対応は。

答 土砂災害警戒区域内の78名に対して避難情報を発令し、避難者は60名であり、避難率は約8%であった。

問 宮沢地区において、避難者が少なかったのはなぜか。

答 避難対象者、30名には20名であり、今後の大きな課題と考える。避難者が少なかった要因は、防災行政無線が聞き取りにくかったこと、夜間のため周辺の変化が分かりにくかったことなどが考えられる。

問 市が発令する避難情報は、具体的にどのような呼びかけることになっているのか。

答 避難情報の発令については、今年3月に国の改訂により、避難勧告などを発令する際は、5段階の警戒レベルを明確にすることとなった。市町村には、警戒レベル3以上の避難情報を発令することが明示された。

基本的には、国や県から警報級の気象情報が発表された場合には、警戒レベル3の「避難準備・高齢者など避難開始」を、土砂災害警戒情報や氾濫危険情報などが発表された場合には、警戒レベル4の「避難勧告、避難指示」を発令する。警戒レベル5は、「全員避難」である。

実際の発令は、県からの情報や現地確認などにより、浸水深や土砂災害の想定区域をあらかじめ特定し、該当区域の住民に対して発令することとしている。「伝達方法については、区

長への連絡のもと、防災行政無線を柱に、広報車・消防団車両による広報、緊急連絡メール、市ホームページへの掲載などの手段を複数組み合わせて実施するものとしている。

問 今回市民に対する実際の「伝達内容」「伝達時期」及び「伝達方法」は、どうだったのか。

答 伝達内容としては「警戒レベル」「避難行動の内容」「該当地区名」「避難情報発令の理由」「避難場所」について伝達している。

問 防災情報ガイドの市民の理解度は。

答 防災情報ガイド作成前はハザードマップを全戸に配布し、市民に対し身近な危険箇所をお示しした。

今年7月に配布した防災情報ガイドは、作成段階で区長の皆様に説明し、意見を聴取し、自主防災組織の意識の向上を図った。地区住民の立場で考えると、内容の徹底などが必要

「避難は」安全なうちに安全な場所へ



つぶやき...

であり、ガイド配布時に区長あてに、講習会・訓練など実施する場合は、担当職員を派遣する旨伝えている。

問 台風19号の避難行動と対策は。

答 今回、避難率にも現在の避難行動に結びつかない現状がある。自主防災組織内の話し合いや、避難訓練の実施などに対するさらなる後押しが必要と捉えている。今後とも防災情報ガイドの理解度向上や防災行政無線の屋外放送以外の伝達方法の確立などについても検討するとともに、さらに自らの命は自ら守れるよう自助・共助としての防災減災支援を強化していく。

広域事務組合議会の報告

北村山広域行政事務組合議会

令和元年9月30日に定例会、12月23日に臨時会を村山市議場にて開き、平成30年度一般会計決算（総額9千77万4千円）と令和元年度補正予算2件（76万5千円）を可決した。来年度からプログラミング教育が必須になるため、タブレット40台を導入する。また、消費税率10%への引き上げに伴い、プラネタリウム使用料を100円から110円に変更する内容となった。



北村山教育賞
落合優馬さん(寺内)が受賞

村山市・大石田町の議員改選をうけ新体制となり、議長には村山市議会選出の塩原未知子氏が就任した。

秋葉新一氏、副議長には尾花沢市議会選出の塩原未知子氏が就任した。

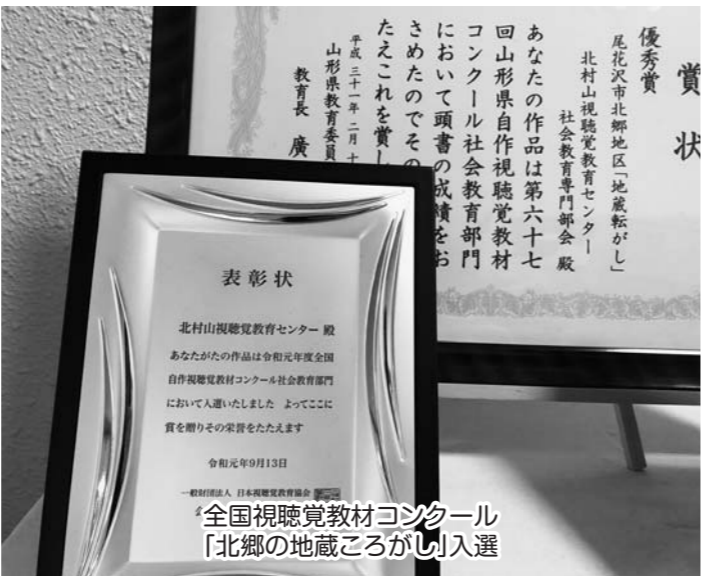


北村山広域行政事務組合ってなに？

北村山地区3市1町それぞれが負担金を出しあい、視聴覚センターの管理運営や教育などについて事務を共同処理するところです。

現在は、プラネタリウムと視聴覚センターの運営がほとんどですが、これからは北村山全体の課題として、公認グラウンドや広域観光、また鳥獣被害対策などを話し合っていくこととしています。

- ☆議員
各市町からの議員で構成されています。
- 村山市(3人)
 - 東根市(3人)
 - 尾花沢市(塩原未知子、星川薫、和田哲)
 - 大石田町(2人)
- ☆管理者……村山市長
副管理者……東根市長、尾花沢市長、大石田町長



全国視聴覚教材コンクール
「北郷の地蔵ころがし」入選

北村山公立病院 組合議会

12月24日東根市議場で第3回定例会を開催し、令和元年度組合事業会計補正予算など6議案が提出され、審議の結果、原案通り可決され閉会した。

補正予算は、入院患者数の減少、外来患者数の増加に伴い、事業収益を減額の54億8,697万円に、事業費用を増額の57億2,689万円に補正する。

また会計年度任用職員制度を創設し、臨時・非常勤職員の適正な任用・勤務条件などの確保を図る。

次に人事院勧告、山形県人事委員会勧告に基づき、給与月額を引き上げ、住居手当を見直し、期末勤勉手当の支給月数を引き上げる。また繰り出し基準額の変動に伴い、3市1町負担金額を補正した。



北村山公立病院組合ってなに？

北村山地区3市1町それぞれが負担金を出しあい、公立病院の設置と管理について事務を共同処理しているところです。

最近では、看護師・薬剤師の確保が課題の1つであることから「修学資金貸与条例」を制定し、月額6万円以内の修学資金を貸与して、公立病院に一定の期間勤務した方の返済を免除するといった取り組みなどを行っています。

- ☆議員
各市町からの議員で構成されています。
- 東根市(5人)
 - 村山市(4人)
 - 尾花沢市(大類好彦、奥山格)
 - 大石田町(2人)
- ☆管理者……東根市長
副管理者……村山市長
尾花沢市長
大石田町長

尾花沢市大石田町 環境衛生事業組合議会



議員の改選に伴い、8月26日と12月24日に同組合議場で臨時会を開催し、大石田町議会選出の齋藤公一氏を議長に、尾花沢市議会選出の菅野修一氏を副議長に選出し、各委員長・副委員長を選出した。

令和元年度一般会計補正予算は、ゴミ運搬車荷台購入費22万7千円を追加、条例に関する3案件を原案通り可決した。

平成31年3月に策定された「ごみ処理基本計画」について、詳細な説明をつけた。



尾花沢市大石田町環境衛生事業組合ってなに？

尾花沢市と大石田町が負担金を出しあい、事務の一部を共同処理するところです。

主に、上水道事業・衛生処理施設(ごみ処理場)・火葬場・下水道事業になります。みなさんが生活を営むうえで欠かせないことが多いことも特徴です。

- ☆議員
両市町からの議員で構成されています。
- 尾花沢市
(菅野修一、青野隆一、小関英子)
 - 鈴木清、菅野喜昭)
 - 大石田町(5人)
- ☆管理者……尾花沢市長
副管理者……大石田町長

産業厚生
常任委員会

鳥獣・健康づくり・地産地消と幅広く！

産業厚生常任委員会では11月18日～20日まで四国で行政調査を行いました。



かみし
香美市(高知県)は、面積の約9割を森林が占め、林業が盛んで、農業は米作りや野菜を主体とし、ユズが特産である。
香美市では二ホンジカによるユズ・桜・植林の樹皮剥ぎ・イノシシによる水稲への食害・踏み倒し。サルによる果樹・野菜への食害などの農業被害に苦慮している。対策として、侵入防止柵などの購入補助のほか、狩猟免許を持たない農業者が農の管理(見回り)、撤去ができる捕獲補助員制度や捕獲報償金制度、狩猟者育成事業などの対策を講じている。地域ぐるみの取り組みにより、被害の減少の成果を上げていた。



とうちんし
東温市(愛媛県)では、健康づくり事業として、百田チャレンジ『体重測定と動く時間を増やす』事業、医師、薬剤師、大学などと共同開催の健康フォーラムを開催。また、とうおん健康づくりの会が、健康づくり活動やウォーキングマップを作り、活発な活動を行っていた。健康・食育カレンダーには、食育・ドッグ・子育て支援・スクールランチコンテンツなどの健康に関する知識やイベントが盛りだくさんであり、大変参考になった。



いまばりし
今治市(愛媛県)の、道の駅「さいさいきて屋」は、平成12年に92名の会員で始めて、しだいに増加して、現在は約1200名になった。平成19年に大型店構想が持ち上がり、現在の店をオープンした。従業員は現在約160人で、平成30年度の売り上げは、約2億3千万円。また、地消レストランや加工施設を併設し、販路拡大を図っている。
農業者の育成と、農家の所得向上につながっていた。

総務文教
常任委員会

幼～高を貫く新たな国際教育を！

総務文教常任委員会では10月29日～31日まで北海道で行政調査を行いました。

ひがしかわまち
東川町では、日本一の「子育て・教育の町づくり」を目標に掲げ、「生き生きの育成」ふるさと教育の推進・学力向上の推進・国際教育の推進をしている。主な施策として切れ目のない子育て支援、学社連携事業、学力向上推進事業、国際教育推進事業などを行っている。

特に国際教育の推進として、新教科GoGo(グローバル)ローカル・グローバル・コミュニケーションを組み合わせた教科で、幼小・中・高まで切れ目なく取り組んでいる。
平成6年以降、写真の町事業や子育て支援事業などの実施で、平成5年度7千人を切った人口が平成26年度42年ぶりに8千人を突破している。



なよろし
名寄市は、平成18年3月に旧風連町と旧名寄市が合併し新名寄市となった。「名寄の冬を楽しく暮らす条例」を制定し、市の責務と市民の役割を明確にし、市民と行政の協働により「利雪親雪」のまちづくりを推進していくことが定められている。利雪親雪推進市民委員会を設置し、なよろ冬カレンダーの企画・編集、インスタグラムにおける「#名寄の冬」の取り組み、名寄市ホワイトマスタの推進などに取り組んでいる。



たきかわし
滝川市は、既存の図書館の耐震強度の不足やアクセスの悪さなどの理由から、平成18年に図書館移転計画検討委員会を発足し、平成23年に滝川市役所2階に新図書館をオープンした。「連携」をキーワードに、出会いといのちの森・図書館つながる行政・地域・学校・メディア・医療関係など便利で役に立つ図書館として、利用増加を図り平成30年度利用者数は移転前の42倍の15万人以上になり、100万人の来館者を達成している。



えにわし
恵庭市は、平成23年4月に「恵庭市人とまちを育む読書条例」を施行し、「本と出会い 人と出会い つながるひろがる 読書のまち」を基本理念に乳幼児期から小・中学生・高校生期・各年代に「いつでも・どこでも・だれでも読書に親しめる環境」を整備している。恵庭まちじゅう図書館など市内の店舗から協力を得て、よりよい読書に親しむまちづくりを行っている。